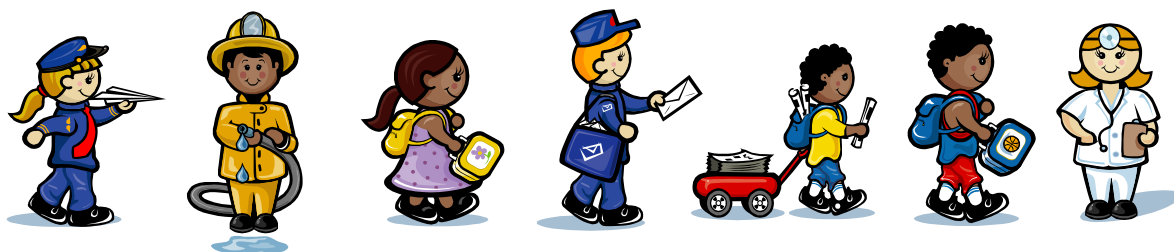
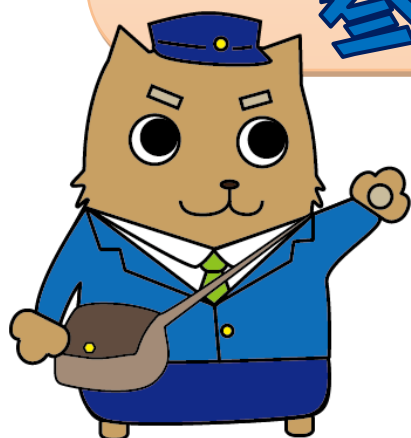


キッズビジネスタウン in AKISHO 参加ガイドブック



秋田市立秋田商業高等学校ビジネス実践「キッズビジネスタウン in AKISHO」

住 所 〒010-1603 秋田市新屋勝平台1 - 1

電 話 018-823-4308

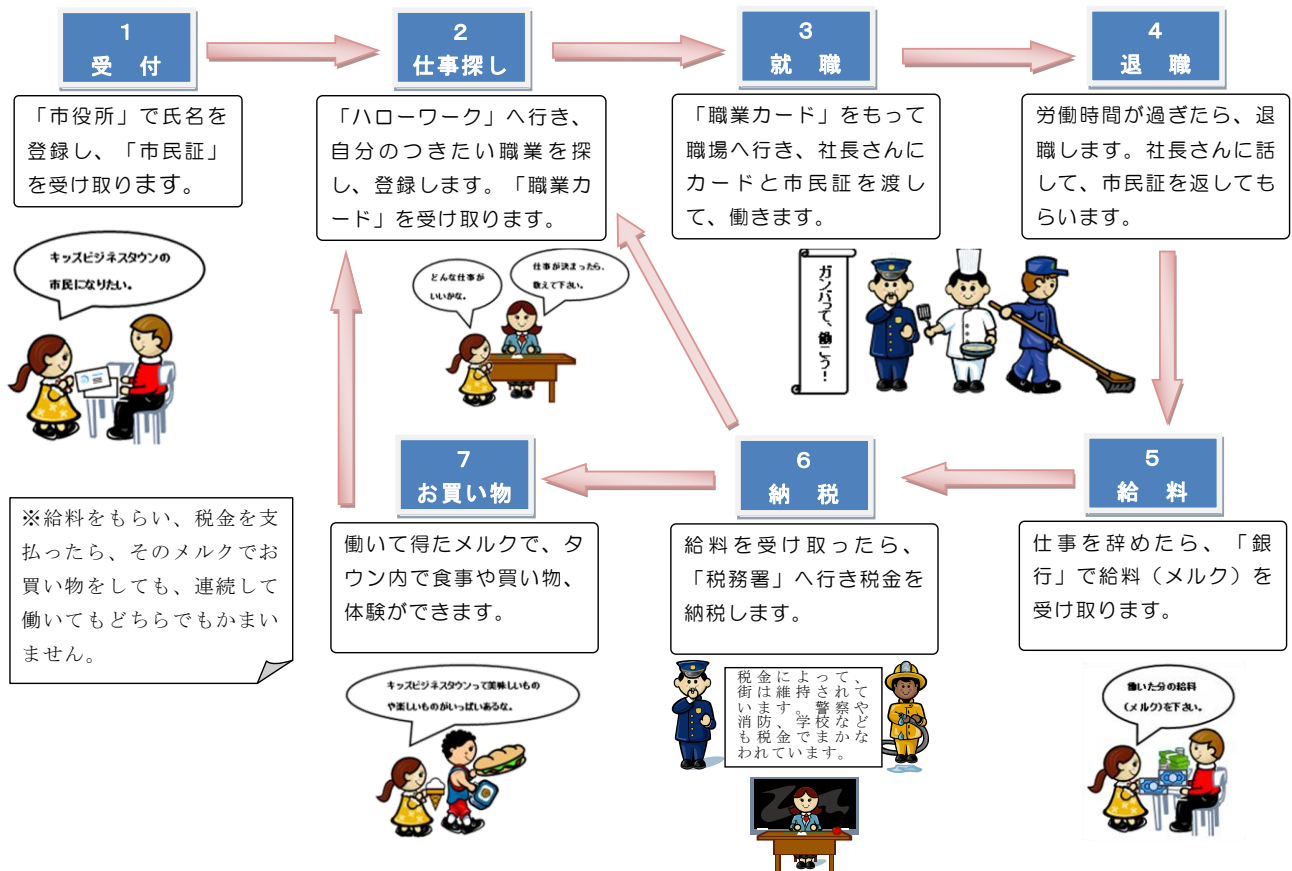
F A X 018-823-4310

U R L <http://akisho.ed.jp/business/>

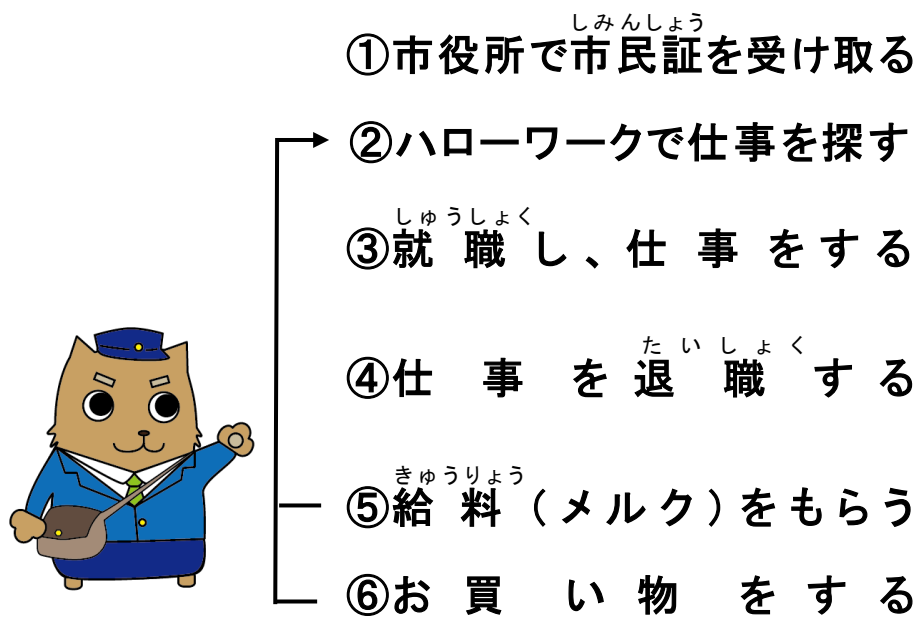
*「キッズビジネスタウン」は千葉商科大学の登録商標です。

1. キッズビジネスタウンの仕組み

『キッズビジネスタウン』では、このような仕組みで、街が運営されています。



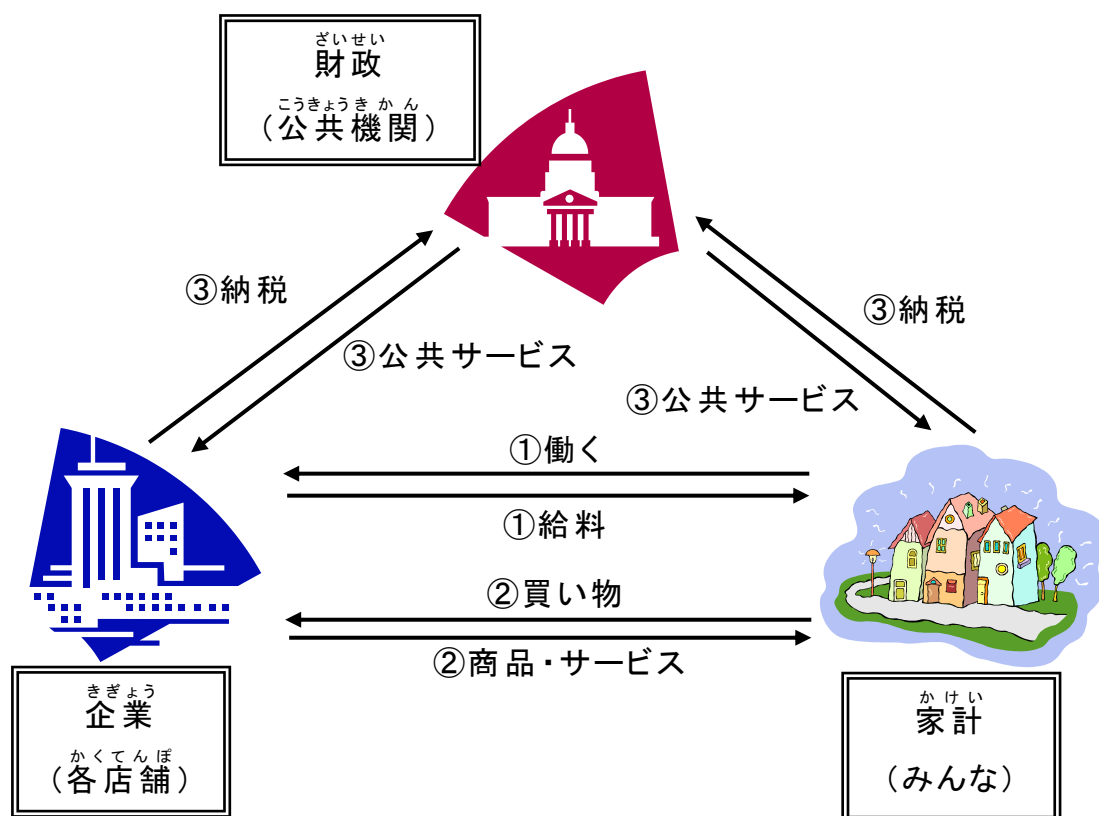
『キッズビジネスタウン』の基本的な流れは、



となっています。

秋田商業生は店長としてお店を運営し、各場面で子どもたちのサポートをします。

キッズビジネスタウンは、このような社会^{しゃかい}の仕組みをイメージして作られています。



- ① みんなが企業で『働く』ことで、『給料』をもらうことができる。家計が買い物やサービスで支払った代金が、会社を運営するための資金となる。
- ② 働いて得た給料を使う(これを『消費』^{しょうひ}といいます)ことで、必要なものを買ったり、色々なサービスを受けたりできる。
- ③ もらった給料から税金を納める(『納税』^{のうぜい}といいます)ことで、市役所や消防署、学校などの公共機関^{こうきょうきかん}が無料でみんなの街の生活を守る『公共サービス』^{こうきょう}を行ってくれる。公共機関で働く人は、みんなが納める税金から給料をもらっている。



このような活動^{かつどう}を繰り返す^{くりかえす}ことでお金がみんなのところを回り、社会が成り立っています(これを『経済の循環』^{けいざい じゆんかん}といいます)。



2-①.『受付』について → 市役所へ

キッズビジネスタウンに参加する子どもたちは、まず「受付」に行き、学校名・名前などを登録し、参加料を払って『市民証』や『マイワークカード』を受け取ります。

子どもたちは『市民証』をもらって、初めてキッズビジネスタウンの市民となります。

子どもたちが働いた記録は、『マイワークカード』に記入されます。

【市民証】

見 本

【マイワークカード】

見 本

『市民証』と『マイワークカード』を受け取り、子どもたちは仕事を探すために②ハローワークへ向かいます。

2-②.『仕事探し』について → ハローワークへ

『市民証』を手に入れた子どもたちは、仕事を探すためにハローワークへ向かいます。『ハローワーク』は「職業を紹介する機関」です。『求人票』を見て、従業員を募集している店舗を探し、その中から自分のやりたい仕事・職業を選ぶことができます。

キッズビジネスタウンの中にはさまざまな仕事がありますが、店舗によってその仕事内容は違います。各店舗の『求人票』が、ハローワークの掲示板にはってあるので、仕事内容、求人数を確認して下さい。

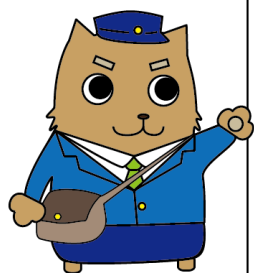
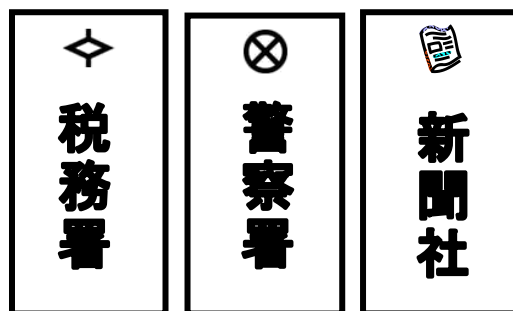
やってみたい職業が空いていれば、その仕事に③就職することができます。

見 本

仕事を選んだら、そのことをハローワークの職員^{しよくいん}に伝えます。職員は指定された店舗の『仕事カード』を持ってきて渡^{わた}します。

この『仕事カード』は、そこで働くことを証明^{しょうめい}してくれるものです。この『仕事カード』がないと、働くことができません。この『仕事カード』は無くさないように注意^{ちゅうい}して下さい。

仕事カードの例



各店舗でやとえる人数には限りがあるので、必ずなりたい仕事につけるわけではありません。空いていないときは、少しお買い物をしてくるなど時間をずらしてからハローワークに来てみてください。または、やりたいと思っていた仕事以外にも、やってみると楽しい仕事や、知らなかった仕事についての新しい発見があります。

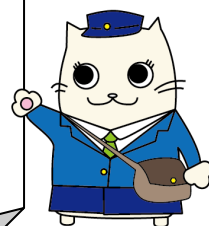
いろんな職業^{ちようせん}に挑戦してみましよう！

2-③.『就職』について → 各店舗へ

『ハローワーク』で『仕事カード』を受け取ったら、各店舗へ仕事をするために向かいます。仕事を始めるには、各店舗の社長に『マイワークカード』を渡し、「仕事の場所」「始めた時間」を記入してもらいます。記入が終わると、その子どもはお店の従業員となります。

子どもたちの労働時間^{ろうどうじかん}は30分以上です。30分働かないのに仕事を辞めてしまうと、給料がもらえません。時間いっぱい頑張らましよう。

- ・準備(じゅんび)も大切な仕事だよ
- ・どうやったらそのお店にお客さんが来てくれるか、工夫してみよう
- ・お客さんに対して、正しい言葉づかいができるかな
- ・ものを作ったり、サービスしたりするとき、お客さんのことを考えて作ろう
- ・売れたものを帳簿(ちょうぼ)に書くことも大切な仕事だよ



2-④.『退職』について

子どもたちは30分以上働くと、各店舗を『退職』^{たいしよく}します。

退職する時は、各店舗の社長に退職したいことを伝え、『マイワークカード』に『終わった時間』『働いた時間』『給料』^{きんむひょうか}』『勤務評価』を記入してもらいます。



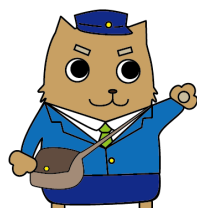
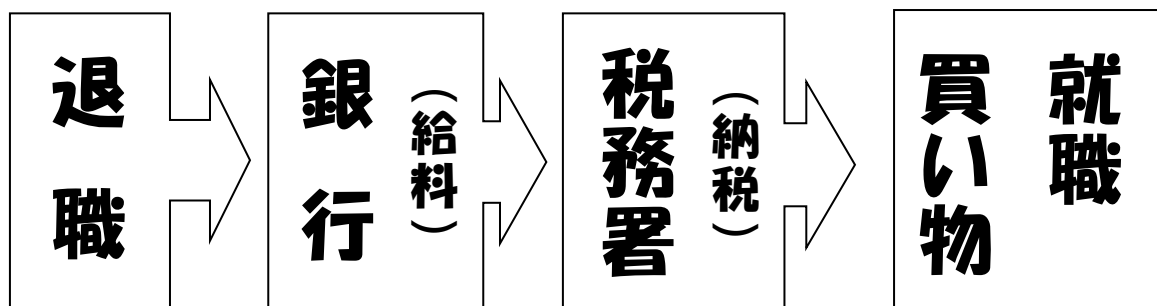
記入された『マイワークカード』を受け取ったら、『給料』をもらうために、⑤『銀行』^{ぎんこう}に向かいます。

2-⑤.『給料』について → 銀行・税務署へ

『キッズビジネスタウン』で、働くと給料(メルク)をもらうことができます。

仕事が終わったら、『マイワークカード』を持って銀行^{ぎんこう}へ行きます。そして、『マイワークカード』に銀行印^{ぎんこういん}を押してもらい、給料(550メルク)をもらうことができます。

その後、税務署^{ぜいむしょ}に行き、所得税^{しよとくぜい}(50メルク)を納めます。所得税を納めると、市民証の「税金(所得税)」^{のうぜいがく きさい}に納税額が記載され、税務署印^{ぜいむしよいん}が押されます。税金を納めることで、そのお金で街を整えることができます。忘れずに納めましょう。

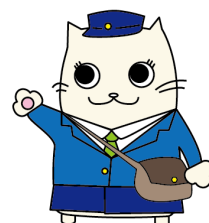


この、銀行と税務署での手続き^{てつづき}が終わると、もらったメルクで⑥買い物をしたり、次の仕事へ②就職する事ができます。

2-⑥.『お買い物』について

銀行・税務署で手続きが終わったら、もらったメルクでキッズビジネスタウン内の各店舗で『お買い物』ができます。子どもたちはメルクで、食事をしたり、遊んだり、商品や製品せいひん こうにゅうを購入したりと、さまざまな店舗でお金を使い、楽しむことができます。

①受付～⑥お買い物までを体験すると、②ハローワークにもと戻り、今までの活動を繰り返し行います。



＜キッズビジネスタウン内の専用通貨（メルク）の一例＞



キッズビジネスタウン専用通貨の単位である『メルク』は、商業にゆかりのあるローマ神話の商業神「メルクリウス（Mercurius）」の英語読み、「マーキュリー（Mercury）」からきています。秋田商業高校の校章にも、この「メルクリウス（マーキュリー）」の速さを示す「翼」と叡知を表す「蛇」が用いられています。

3. 大人の方が買い物をする場合について

基本的にキッズビジネスタウンでは、子どもたちが働いて得た給料（メルク）しか使えないことになっています。大人のお客様には『ギフトカード』を用意しました。この『ギフトカード』を使用すると、大人の方もキッズビジネスタウン内で買い物等ができます。

このギフト券はタウン内の「ギフトカード売り場」で10枚セットで500円、1枚50円と交換できます。

なお、ギフト券は大人の方のみが使える券となっております。子ども達がキッズビジネスタウン内で買いたいものは、自分達で働いて得た給料でお買い求めください。子ども達に何かを買ってあげるためではなく、子ども達が仕事をできるようお客様としてご利用ください。



4. 参加するみなさんへのお願い(家族の人と確認してね)

・持ち物チェックリスト

- ☐ 受付整理券 ☐ 参加料 800 円 ☐ 内履き ☐ エプロン
☐ 三角巾 ☐ ハンカチ (タオル) ☐ ヘアゴム (髪の毛の長い人)

・受付のさいには、同封した受付整理券と参加料800円を渡してください。

※整理番号は受付の順番を示すものではありません。

・キッズビジネスタウンへは、動きやすい服装で来て、内履きをご持参ください。

・飲食店ではエプロン、三角巾を使用します。エプロンやバンダナなどを持ってきてください。また、手洗いもありますので、ハンカチやタオルなどを持ってきてください。髪の毛の長い人は、髪をしばるヘアゴムなどでまとめてください。

・当日は、会場の出入りは自由です。遅れてきても受付をしたところから参加できます(最終受付は12:00)。また、早めに帰っても大丈夫です。ただし、参加料はどの時間からでも800円となります。

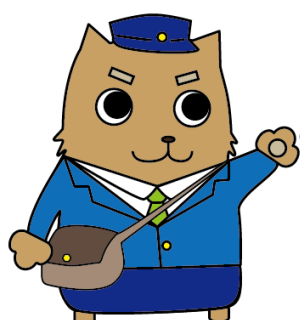
・朝から体調が悪いときは無理をせず、休んでください。(休みの連絡はいりません)

・活動中に具合が悪くなった場合は、家族や近くの高校生、先生に話してください。

・活動中の様子を、秋田商業の先生たちが撮影することがあります。各種広報・報告に利用することがあるので、撮らないでほしい人はその先生に話してください。

・キッズビジネスタウンから帰るときは、名札ケースは必ず受付に返してください。中の市民証などは持って帰っても大丈夫です。

・帰る時、または帰った後に参加アンケートにご協力をお願いします。受付の近くにアンケート回収ボックスを置いておきます。また後日郵送・FAXでもかまいません。



ご来場おまちしています

